

# おぐらだけ

地区協議会  
公民館だより

南山田地区協議会  
南山田公民館発行



## 道真公伝説の場所へ

### お宝めぐり健康ウォーク

### 菅原本村地区

3月16日(土) 南山田地区内外から23名の参加者をお迎えして、菅原本村地区に伝わる道真伝説ゆかりの地を歩きました。菅原集会所を起点に、当日は小雪がちらつく寒い朝でしたが、ストレッチ体操後にお宝マップを手にして元気に出発しました。

菅原地区は、延喜元年(901)、無実の罪で大宰権帥に左遷された菅原道真が一時滞在したと伝えられています。菅原村はもと『葦谷村』といっていました。道真の氏を賜り、以後『菅原村』と村名を改めたと、地名の起源も伝えられています。

菅原村の天台宗安全堂(浄明寺の前身)には、道真の学友である『観応』という人がいたことから、刺客をさけるため一時立ち寄りしました。浄明寺では前住職の恵海さんから本堂の襖絵の説明を聞かせていただきました。襖絵は見事なもので、昭和29年に京都の画家仲秋華さんが2ヶ月間滞在して描いたそうです。

浄明寺を後にして大分県特別保護樹木『大カヤ』を見ました。道真はこのカヤの

木の『一の枝』をとり、自像を彫って形見として観応に与え大宰府へ旅立ったといわれています。

道真の死後、天曆9年(955)村上天皇の勅使下向の折、安全堂に安置していた道真像に『南無天満大自在天神』の勅号が下され、現在地に社を造営して遷し奉ったのが菅原天満社の創始といわれています。また『ミスミハタ』という地名の場所には、道真が一時滞在した家があったといわれる場所で、『菅公御須美遺跡』の碑が立っています。そのほかに



は、人形芝居一座(座員8人)にまつわる悲惨な伝説がある『八人塚』について、区長の木付さんからお話を聞き、最後に観音堂等を見学して、約2時間半のお宝めぐりウォークを終えました。



# ジュニアリーダー人権研修 ソニー太陽&城島高原パーク

南山田ジュニアリーダー（淮園小・南山田小6年生17名）は、南山田育成協の協力のもと、30年度も阿蘇青少年交流の家での一泊研修、南山田げんき祭り、交通安全活動とたくさんの方の活動を行ってきました。その締め括りとして3月25日（月）に、日帰り研修を行いました。

まず、日出町のソニー太陽を訪れ、障がいのある人もない人も一緒に働き、世界に誇ることのできる品質の商品を作っている工場を見学しました。工場内には障がいのある人が十分に力を発揮できるようにするための設備が整い、日々の仕事を改善していくための工夫がいろいろなところになされています。

研修の後は、同級生との思い出づくりとして、城島高原パークで遊びました。みんな楽しい一日を過ごすことができたと思います。

4月からは中学一年生として今までの研修で学習したことを活かして、新しい環境でものびのびと楽しく過ごしてほしいです。



# テーブルマナー教室 オーベルジュモスにて



子ども料理教室では、3月16日にオーベルジュモスのフレンチレストランで、テーブルマナー教室を行いました。今回は、昨年から再開した淮園小学校の児童も一緒に参加しました。

子ども料理教室は、淮園小学校と南山田小学校の児童を対象にした公民館事業で、南山田食生活改善推進協議会の会員の皆さんから指導を受けながら月に1回の実習を1年間行っています。この事業の一環として、南山田青少年健全育成協議会の支援も受け、年度末にレストランで美味しい食事をしながら、テーブルマナーを学習します。フォークやナイフの使い方に戸惑ったりと子ども達は、いつもと違う雰囲気の中でも楽しそうでした。講師や従業員の方から指導していただき、しっかりと学習できたと思います。テーブルマナーに対しての考え方が変わり、より意識すること、食事の仕方を考えてもらえるといいと思います。

## 4月・5月の予定

4月

- 18・25日 給食ボランティア
- 18日 南山田地区協議会総会
- 19日 消費生活相談
- 22日 南山田青少年健全育成協議会総会

- 23・30日 ほほ笑み教室
- 23日 南山田地区放課後児童クラブ総会

- 24日 南山田体育協会総会
- 25日 南山田人権同和問題啓発推進協議会総会

5月

- 3日 落語会(五代目圓楽一門)
- 7・14・21・28日 ほほ笑み教室
- 9・16・23日 給食ボランティア
- 17日 消費生活相談

※おぐらだけ発行時点で把握している行事のみ紹介しています。  
※予定は変更になることがあります。ご了承ください。

